



# 浜家連 ニュース10月号

第242号

2020年10月1日発行

発行人 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会  
事務局 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752 番地  
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3階  
電話 045(548)4816・FAX 045(548)4836  
URL <http://hamakaren.jp/>

## 分かりあえるのか、グループホーム建設反対運動と家族会 副理事長 大羽 更明

「あなた達は何をするかわからないから怖い、近所には住みたくないから出てってください。近くに来ないで！」都筑区の障害者グループホーム（GH）運営反対運動でかけられたのぼりのスローガン「(障害者施設) 運営反対」、「住民の安全を守れ」の本音の理由です。

家族会に入る前、私たちはどうだったでしょうか。発症したばかりの急性期の陽性症状が激しく現れては消える当事者を前にして、私たちは困惑し、恐怖を感じ、現実を否定しようとしたり、誰にも相談できずに自分を責めたりしました。その後、同じような体験をしたのは自分だけではなく、話を聴いて共有してくれる人がいることもわかり、精神障害について知識も出会い経験も増えてくるにつれ、怖がるばかりではない対応の仕方もわかってきました。当事者が家族だったからかもしれません。GHに反対する方々のように嫌悪感や排除の気持ちは持ちませんでした。



でも、身近な障害者との付き合いがない人は、精神障害者はなんとも怖いという先入観があって包容や理解とはかけ離れた所にいると思われまます。実在する精神障害者の姿（状態像）や言動（症状）を抵抗感なしで観るのは難しいでしょう。精神障害がけつたいな人間の不可解な行動なんかではなくて、あなたもかかる脳の病気であるとは素直に受け取れないかもしれません。ましてや、同時にそのような理解も障害の一面的な捉え方にすぎず、障害は社会の側にあるなどとは思ってもおよばないでしょう。グループホーム運営に反対

する方たちは、「あなたたちの障害理解は間違っている」とか「施設運営に反対するのは差別ですよ」と言っても耳を貸さないでしょう。そういう意味では彼らは閉じた地域社会をつくろうとしているわけです。

ところで、「ここでの話はここだけで、誰がどんな話をしたかを外で話さないようにしましょう。」という言葉があります。これは家族会の会合での普通の約束事です。病気や私生活を含む個人の情報が当事者の名前付きでその当事者のいないところで独り歩きして、根拠のない噂話のように伝わることを私たちは恐れています。特定の個人への偏見や差別はそれが容易には忘れられないスティグマになるという点で恐ろしいものです。そこで、家族会もそのような恐怖や不安から身を守ろうとして、差別に対抗した閉じた集団を形成しています。

9月12日の全米オープン女子シングルス決勝で優勝した大坂なおみは、「自分はアスリートである前に1人の黒人の女性です。」という言葉で米国の黒人差別への抵抗を鮮明にして戦い抜き、世界を感動させました。また、7枚のマスクについてのメッセージは？と問われて、「大事なのは人々がどう受け取ったかです。話を始めてほしい。」とも言ったそうです。障害者差別についても同じような姿勢が必要なのではないでしょうか。私たち家族が閉じた集団にこもらず、自らの立場を明らかにして人々に語りかけましょう。インクルーシブに（互いに誰をも排除し合うことなく内部にとりこみ許容し合える関係で）分

かりあえるときがくることを願って根気よく活動しませんか。

ひとつは、教育の場への働きかけです。子どもたちが、子どものときから違う子と生活を共にして「違いがあって当たり前」ということを自然に身につけて障害のある人を受け容れるように育

ほしいです。

もうひとつは、地域への働きかけです。大人も日常生活の中で、医療・福祉・住まい・社会参加・地域の助け合い・教育などあらゆる場面での共生のための社会基盤をつくる構想が「精神障害にも対応する地域包括ケアシステム」です。

## 浜家連の動き



### ◆健康福祉局へ要望書を提出し、懇談を行いました◆

- ・浜家連ニュース9月号でお知らせしました健康福祉局へ要望書の提出・懇談について、報告が届いています。

#### 横浜市健康福祉局障害福祉保健部訪問記録

みなみ会 土屋克也

去る8月12日午後1時より市健康福祉局障害福祉保健部の方々に令和3年予算編成に対する横浜市長あて要望書を持参の上、浜家連のメンバー10名（含む宮川理事長と三役）が18階会議室を訪ねました。

この日、朝から暑く、約束の時間・・・午後1時は相当の気温だったはずですが、18階会議室は、新しい建物の匂いを感じつつ静寂そのものでした。

会議は去年の要望に対しての答えが中心のはずですが、このコロナ禍の今年は、会議開催も遅れたついでに懇談会方式に変更されました。

浜家連1年生が見た今年の懇談会は、まず当会からの話しをきっかけに、話しが進展し、どちらかと言えば婉曲的なお答えが中心だったと思えました。

しかしながら、時計を見て見れば60分の予定が90分余りなり、司会進行役からまぎが入りました。

そんなこんなでの

- ・和やかな中での会議がまた今後も継続されるようです。
- ・やはり、コミュニケーションです。家族会と行政、持ちつ持たれつの間柄。
- ・末長い付き合いが今後も続きます。

当会1年生の不勉強克服が課題と感じた次第です。



#### コロナ禍の精神障害当事者

新型コロナウイルス感染拡大のため、様々な活動が中止または縮小になり、厳しい自粛生活もありました。精神障害者の家族に聞こえてきた当事者とコロナウィルスの戦いをお伝えします。

新型コロナウイルス感染を恐れて、家にひきこもり消毒等を徹底して全く外に出られなくなった人、反対に、家族の忠告にも耳を貸さず、マスクもせず、手洗いもせず以前と全く同じ生活をしている人などもいましたが、ほとんどの人

さかえ会 井汲悦子

はその間で個々の思いや考えで対処していました。感覚過敏で喉が締め付けられるように感じマスクが着けられないと困っている人もいます。

精神障害者にとって切り離すことのできない通院は、3密になりやすく、不安の声が多く聞かれましたが、電話やオンラインによる診療、薬の郵送や配達などが可能になり利用した人もいましたが、やはり、医師と対面しての診療を望む人が多かったようです。

生活費については、障害年金や生活保護受給

者が多く、心配は少なかったようです。しかし、就労で生活を支えている人からは、就労施設での時短、人数制限、休業等で収入が減り、貯金を切り崩さなくてはという切羽詰まった声も聞こえてきました。

緊急事態宣言下も行政から作業所や地域活動センターなどの福祉施設は開けておくようにとの通達がありましたが、高齢者も入居しているグループホームでは外出禁止になり、作業所等に行きたくても行けない厳しい状態になりました。そこでは、どこにも行けず、誰にも会えず体調を崩した話も聞かれました。

長い自粛生活の中で、好きな音楽を聴いたり、

動画配信を利用したり、オンラインゲームをしたりしてひきこもっている時間をその人なりに過ごしてきました。みんな不安を抱えながらも頑張っている状況を乗り越えてきました。

自粛生活の後は、先の見えないウィズコロナの生活で緊張と不安が続く毎日ですが、私が尋ねたグループホームの利用者さんは、皆さん「10万円の給付金は嬉しかった」と笑顔で話していました。パソコン、洋服、眼鏡、趣味のもの、貯金等使い道に話が弾みました。

ウィズコロナの今の状況を感染防止対策をできるだけして、生活の楽しみを見つけながら乗り切っていってほしいです。

### 「青いとり」作業所に新しい職員が入りました。

8月末に「青いとり」作業所を退所されました山畑啓介さんの後任として、池田悦巳（いけだよしみ）さんが常勤職員として入られました。浜家連に挨拶のメッセージが届いています。

#### 「青いとり」作業所の職員になりました 池田 悦巳

ごの度、コロナの中での採用、また紙面を通じて挨拶をさせていただきま

すことを心より感謝申し上げます。

青いとり作業所へ8月末から生活指導員として勤務させていただいております池田 悦巳（よしみ）と申します。

今まで長い間、小・中学校の特別支援学級で介助の仕事に携わって参りました。0からの出発ですが、1つずつの積み重ねを大切にして頑張っていきたいと思います。

頼もしい職場の先輩方と一緒に、日々メンバーの方々に少しでも寄り添って歩ませていただきたいと思います。



#### 訂正のお願い

2018年2月1日発行 浜家連ニュース2月号に掲載した記事の中で、タナベ社会保険事務所のEメールアドレスが違っていましたので、以下の通り訂正をお願いします。

(誤) [tnbkni@yacht.ocn.ne.jp](mailto:tnbkni@yacht.ocn.ne.jp) → (正) [tnbkni44@yacht.ocn.ne.jp](mailto:tnbkni44@yacht.ocn.ne.jp)



## イベント会場での新型コロナウイルス感染防止にご協力を

イベント会場がやっと使えるようになりました。これから、10月の市民メンタルヘルス講座を皮きりに、ブロックフォーラム、浜家連研修会が続々と開催されます。

イベント会場では“コロナウイルス”感染防止のため、以下の点についてご協力をお願いします。

- ① 会場ではマスクを着用する。
- ② 会場入場時には検温及び手指の消毒を行う。
- ③ 他の人と十分な距離をとり、大きい声での会話は避ける。
- ④ スタッフの指示に従ってください。



### ◆イベントのお知らせ◆

#### § Dブロックフォーラム §

こころの病を持つ人への理解

～より良い暮らしのために家族ができること～

日時 2020年11月7日(土) 13:00～16:00 (開場 12:30)

場所 横浜市健康福祉総合センター 4階ホール

内容 第1部 体をほぐしましょう「はまちゃん体操」

指導 阿部 智洋 氏 (公益財団法人 横浜市スポーツ協会)

第2部 講演

家族だから知っておきたい ～精神障害の理解と家族の対応～

今だから知りたい ～コロナウイルス対策～

講師 石田 正人 氏 (神奈川県立精神医療センター)

#### § 第2回 浜家連研修会 §

親の子離れが子の自立を促す

～親の立場から、子の立場から～

日時 11月20日(金) 13:30～16:00 (13:00 開場)

会場 横浜ラポール2階 大会議室

講師 小山 美枝子 氏 (さいたま市精神障害者もくせい家族会)

相沢 隆司 氏 (横浜ピアスタッフ協会)

#### § Cブロックフォーラム §

「自傷」 - 見えない心の傷に気づいて支えるには -

日時 11月28日(土) 13:30～16:00 (13:00 開場)

会場 横浜市健康福祉総合センター 4階ホール

講師 松本 俊彦 先生 (国立精神・精神医療研究センター)

精神保健研究書 薬物依存研究部長)

※いずれもFAXかメールによる事前申し込みが必要です。

【編集後記】 菅義偉総理大臣が誕生しました。新総理の選挙区は神奈川2区(西区、南区、港南区)で、横浜の中心地です。これまでよりも国からの恩恵が横浜にあるかもしれない・・・、などと下司な考えを持ってしまいます。少なくとも、これまで以上に障害者にやさしい政権であってほしいと願うばかりです。

(事務局 中居)